



2015年6月4日

お客様向け資料

BNP パリバ インベストメント・パートナーズ株式会社

ブラジルの政策金利の引き上げについて

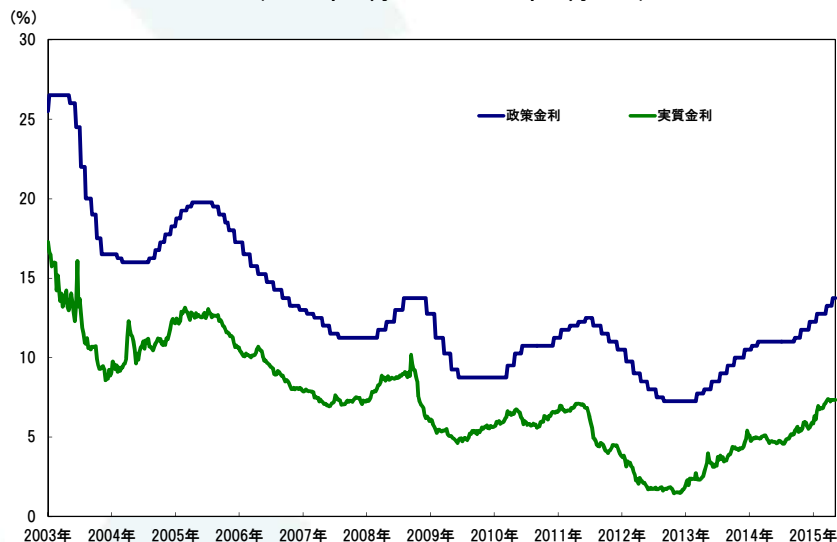
ブラジル中央銀行は、現地 2015 年 6 月 3 日の金融政策委員会(COPOM)で、政策金利(Selic)を 13.25%から 13.75%に引き上げることを決定しました。政策金利の引き上げは、2014 年 10 月以降 6 会合連続となります。市場でも、政策金利の引き上げ幅は 0.50%と予想されていました。

前回の会合時と声明の内容に変更はなく、ブラジル中央銀行は、マクロ経済の行方とインフレ見通しを勘案した結果、今回の利上げを全会一致で決定したとのことでした。ブラジル中央銀行は依然として高いインフレ率の抑制を目指しており、2016 年末までにインフレ率を 4.5%まで引き下げる意向を引き続き示しております。

ブラジル地理統計院(IBGE)が発表した 5 月の拡大消費者物価指数(IPCA)の上昇率は前月比でプラス 0.6%、前年同月比ではプラス 8.24%と、ブラジル中央銀行が目標とするインフレ率の中央値(4.5%)を大きく超過する状態が続いています。また、4 月の失業率も 6.4%と 3 月の 6.2%から悪化しており、さらに 5 月 29 日に IBGE が発表した 2015 年 1~3 月期の実質国内総生産(GDP)は、前年同期比で 1.6%減少するなど、加速するインフレや雇用情勢の悪化を背景とした経済状況の更なる悪化が浮き彫りとなりました。

金融市場では 0.50%の利上げを事前に見込んでいたことから、ブラジル株式や債券価格への影響は限定的と予想しています。為替市場でも、利上げは既に織り込み済みで、6 月 4 日早朝の東京時間のリアル相場も落ち着いた推移となっています。

＜ブラジル政策金利と実質金利の推移＞
(2003年2月1日～2015年6月3日)



2015年6月3日
13.25%→13.75%へ
0.50%の引き上げ

*政策金利：Selic を使用 *実質金利：名目金利とインフレ率を使用し算出 (データ出所：ブラジル中央銀行)

■本資料は BNP パリバ インベストメント・パートナーズ株式会社が上記の時点に作成したものです。特定の金融商品の取得勧誘を目的としたものではありません。■本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。■本資料中の情報は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。